

第62回愛知県総合教育センター研究発表会

テーマ「資質・能力の育成を目指した学びの在り方」(2年次)

期 日：2022年11月25日(金)

開催方法：Zoomでのオンライン開催

講演

〈講師〉

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
主幹研究員・准教授

とよ ふく しん ぺい
豊 福 晋 平 氏

〈演題〉

**1人1台端末を活用した令和の学びの在り方
～GIGAスクール構想をいかに駆動させるか～**

LIVE 配信日程

9:30～ 9:55 入室・受付
10:00～10:15 開会
10:30～11:50 講演
12:30～12:55 入室・受付
13:00～16:10 研究発表・
研究協議
16:15 閉会

研究発表・研究協議

第1部会 学校教育目標を実現するための 社会に開かれた教育課程の在り方に関する研究

- ◇グランドデザインの策定、家庭・地域との共有
- ◇目標に基づく教科等のカリキュラム・マネジメント
- ◇地域と連携・協働した教育実践



第2部会 これからの時代に求められる資質・能力 を育む学びの在り方に関する研究

- ◇県立高校「総合的な探究の時間」の計画と実践例
- ◇生徒の成長・変容を評価する手法の紹介
- ◇教職員が協働して指導する体制づくり

第3部会 新学習指導要領を踏まえた学習評価 の在り方に関する研究(中間報告)

- ◇「授業マネジメントシート」の作成・活用
 - ◇効果的な振り返りと授業のねらいに迫る問い
- #指導と評価の一体化 #主体的に学習に取り組む態度
#授業改善 #ヤマ場 #見える化



第4部会 通級による指導の充実に関する研究

- ◇通級による指導の担当者と通常の学級担任との連携
- ◇特別支援教育コーディネーターが中心となっていく
情報共有や情報交換の実践



第5部会 県立高等学校教育課程課題研究(国語)

- ◇「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価
- ◇領域別パフォーマンス課題の開発
- ◇「思考・判断・表現」を評価する考查問題の開発

第6部会 県立高等学校教育課程課題研究(情報)

- ◇新学習指導要領「情報Ⅰ」の授業実践
 - ◇協働的に取り組むことができるパフォーマンス課題
の開発
 - ◇思考力、判断力、表現力等を育成するための指導方法
と評価
- #情報デザイン #プログラミング #テキストマイニング #問題解決

申込方法

申込期間延長

令和4年11月11日(金) までに右のコード

または下記のURLからお申し込みください。

<https://forms.gle/mNUzTIPfBydt9BQ66>



オンデマンド動画配信

講演・研究発表会の一部をYouTubeで期間限定公開します。
配信期間 令和4年12月15日(木)～令和5年1月13日(金)

講演講師紹介・主な著書



講師 豊福 晋平 氏

【講師紹介】

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 主幹研究員・准教授
専門は学校教育心理学・教育工学・学校経営。長年にわたり教育と情報化のテーマに取り組む。主なプロジェクトとして、全日本小学校ホームページ大賞（J-KIDS大賞）企画運営、文部科学省・学校の第三者評価の評価手法等に関する調査研究「学校からの情報提供の充実等に関する調査研究」、文部科学省・緊急スクールカウンセラー等派遣事業・東日本大震災被災地のための学校広報支援「ともしびプロジェクト」、経済産業省・未来の学校STEAMライブラリ教材開発など。

【主な著書】

『自ら語れば学校はもっと愛される 学校広報の視点から学校ホームページを考える』（単著、プラネックス）
『2030年代のデジタル学習論：教育DXの構想と実践』（編著、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）
『デジタル・シティズンシップ教育の挑戦』（共著、アドバンテージサーバー）
『デジタル・シティズンシップ：コンピュータ1人1台時代の善き使い手をめざす学び』（共著、大月書店）
『子どもの未来と情報社会の教育』（編著、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）
『デジタル・シティズンシップ＋』（共著、大月書店）

研究主題・発表概要・研究発表関係者

研究主題	発表概要	研究発表関係者
第1部会 対象：小中高特 学校教育目標を実現するための社会に開かれた教育課程の在り方に関する研究	学校の グランドデザイン を基に、教育目標の実現に向けて教科・学年でどのような資質・能力を育成するかを念頭に置いた カリキュラムマネジメント について紹介します。 家庭や地域、異校種と教育目標を共有し、児童生徒の 資質・能力育成 のために 協働的 に取り組んだ授業実践について紹介します。	指導助言者 名古屋大学大学院教授 柴田好章 研究協力校代表委員 東浦町立生路小学校 村田敬一 新城市立八名小学校 原田享明 東浦町立東浦中学校 皆川峰寛 新城市立八名中学校 原正樹 東浦高等学校 金田卓也 新城有教館高等学校 矢萩靖子 総合教育センター 松井亮 佐々恵 内山真一 猪狩雄一 杉浦伸也 成田隆行 磯貝大輔
第2部会 対象：高特 これからの時代に求められる資質・能力を育む学びの在り方に関する研究	県立高等学校5校と協力し、「 総合的な探究の時間 」の充実に焦点化した研究を行いました。 3年間のつながりを意識した全体計画の作成方法と多くの 教職員が協働して指導 する体制づくりのための留意点を中心に発表します。	指導助言者 愛知教育大学准教授 高綱睦美 研究協力校代表委員 豊明高等学校 村山範子 小牧南高等学校 井戸一博 新川高等学校 藤田将毅 津島東高等学校 宇野透 小坂井高等学校 内田恵里 総合教育センター 原田拳志 中元大生 伊藤卓哉 渡辺雄太 富安伸之 久保優一
第3部会 対象：小中高特 新学習指導要領を踏まえた学習評価の在り方に関する研究（中間報告）	「 指導と評価の一体化 」の実現に向けた「授業マネジメントシート」及び「振り返りシート」を活用した小・中・高の授業実践について報告します。その後の協議では、「主体的に学習に取り組む態度」を見取る一手段としての 効果的な振り返りや授業のねらいに迫る問い について意見交換をします。	指導助言者 愛知教育大学准教授 竹川慎哉 研究協力校代表委員 あま市立美和小学校 飯塚恵理 知立市立知立小学校 正木郁子 瀬戸市立にじの丘中学校 嶋津智子 蒲郡市立塩津中学校 羽田康則 豊田工科高等学校 柴口英哉 知立東高等学校 鋤柄寿樹 一宮豊学校 濱地航平 総合教育センター 太田恵里 佐々恵 横地喜之 松井亮 原田拳志 山田公一 杉浦直樹 柴田朋宏
第4部会 対象：小中高特 通級による指導の充実に関する研究	通級による指導の担当者と通常の学級担任との よりよい連携ができる校内体制の在り方 について、小中学校の特別支援教育コーディネーターが中心となって行った情報共有や情報交換の実践事例を発表します。その後、 通級による指導の充実に向けた校内体制づくり について協議を行います。	研究協力校代表委員 扶桑町立山名小学校 滝茂己 みよし市立三好丘小学校 長谷川洋子 知多市立八幡中学校 橋本良太 三好特別支援学校 内田紀子 一宮特別支援学校 谷本裕之 大府特別支援学校 真野敏彦 総合教育センター 岡庭智美 津田博史 岡本祐輔 荒井麻里 柴田朋宏 西島謙一 猪狩雄一
第5部会 対象：高特 県立高等学校教育課程課題研究 国語	新学習指導要領の趣旨を踏まえ、観点別学習状況の評価について、 パフォーマンス課題と考查問題 を使って評価する方法を研究しました。今回は単元の評価規準に対するパフォーマンスの設定とそのパフォーマンスを観点別に評価するための ルーブリック について、また、「思考・判断・表現」を見取ることができる 考查問題 について、研究成果を報告します。	運営委員長 豊田北高等学校 河合龍二 運営副委員長 千種高等学校 渡辺英樹 研究員 瑞陵高等学校 西本花織 松蔭高等学校 富田めぐみ 瀬戸工科高等学校 水野司麻 春日井高等学校 霜島誠 高蔵寺高等学校 川野恭一 岡崎西高等学校 有馬彰吾 安城高等学校 土屋豊樹 鶴城丘高等学校 石川彩 高浜高等学校 渡邊友章 豊橋西高等学校 西村光剛 豊橋商業高等学校 高須伸吾 御津高等学校 細澤美沙 高等学校教育課 総合教育センター 大河靖知 亀田篤 谷川翼 三浦千加子
第6部会 対象：高特 県立高等学校教育課程課題研究 情報	新学習指導要領における「 情報Ⅰ 」の目標や内容を踏まえ、知識や技能を活用して、協働的に取り組むことのできる パフォーマンス課題 の開発や、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成するための 指導方法と評価 について研究しました。今回の発表では、「コミュニケーションと情報デザイン」「コンピュータとプログラミング」「情報通信ネットワークとデータの活用」の授業実践について報告します。	運営委員長 緑丘高等学校 阿部孝広 運営副委員長 大府高等学校 井谷直樹 研究員 守山高等学校 久村優 天白高等学校 多嶋僚介 旭野高等学校 中尾良 小牧高等学校 井手広康 一宮高等学校 鈴木淳子 幸田高等学校 都築修平 高等学校教育課 総合教育センター 山下智之 富安伸之 中村羊大
教育相談特別研修研究報告動画	教育相談特別研修研究報告動画をYouTubeで当日限定配信します。※教育関係者のみ視聴できます。	

※対象校種が高特の場合でも、小・中学校の教員、またはそれ以外の方でも参観可能です。